平成29年度　学力向上グランドデザイン

南相馬市立上真野小学校

＜教育目標＞

○思いやりのある子ども
○進んで学習する子ども
○体をきたえる子ども

＜H29重点目標＞

気づいて
考えて
行動しよう

＜学力向上の目指す児童像＞

PLAN

≪平成29年度教育目標具現化構想から≫
◎基礎的・基本的事項の定着を図る。
・学習の順序や方法がわかり、粘り強く課題に取り組むことができる子ども
◎授業の改善・充実を図る。
・意欲的に学習に取り組み、自分の考えを相手にわかりやすく伝えることができる子ども

≪学力検査における数値目標の設定≫
＊各学年ともに，期待・全国正答率より5％程度以上、上回るようにさせる。

≪目標達成のための手だて≫
① PDCAのサイクルを機能させる。
② 学力向上プランを生かし、短長期的視野に立って改善策を講じる。

≪つなぐ教育の推進（県学力向上改善会議）＞
◎学び方を身に付けさせる取り組みの推進
◎教育の質を保障する校内体制の構築
◎人づくりの視点に立ち学力向上の基盤を作る
◎市の9つの課題の振り返りと確認、実践

＜児童の実態＞

(1)学力検査の結果から
＊読む速さや、読み取る能力
＊要点を押さえての聞き取りと思考し、判断する能力
＊基礎基本の活用能力等が課題と考えられる。

(2)学習の様子から
△話の要点を正しく聞き取る。
△課題を正確に捉え、根拠を持って伝える力
△教科による個人差の広がり
△基本的な学習習慣の未定着、規範意識の欠如
○調べ学習や体験学習への積極的な取り組みや発表等の工夫

D　O

1．授業の充実
＊課題提示の工夫
＊個に応じた支援、指導
＊学習形態の工夫
※T．T指導、習熟度別指導
＊基本的学習習慣の確立
＊規範意識の育成
＊ ICT 機器の活用

2．授業外の補充活動の工夫
＊朝の読書活動の実施
＊学年に応じた家庭学習の指導、復習による定着
＊スキルタイムの実施
火・木曜日の昼実施
算数科，国語科中心で実施

3．現職教育・校内研修の充実

4．家庭（保護者）との連携
＊学校便り・学年便りの活用
＊家庭学習の充実・習慣化
（区内学力委員会による共通項目の活用）

CHECK

1．学期毎に教育目標・重点目標・学年学力向上プランによるチェックを行う。

2．日頃の授業で基本的な学習習慣の定着できるようにチェックする。

3．学級毎にスキルの効果が上がっているかチェックする。

4．「月例テスト」でチェックする。
（1～3年生，国語・算数）
＊90点以上合格

5．「定着確認シート」でチェックする。（4～6年生，国語・社会・算数・理科）

6．学力検査の結果を分析する。

7．事前研究会・事後研究会で基礎学力定着についてのチェックを行う。

8．2学期末の「学校評価」により，チェック・見直しをする。

ACTION

1，領域別陥没点の洗い出しと対策を考える。

2，個に応じた指導法の工夫・改善を図る。
（発展的・補充的学習）

3，家庭学習の課題の工夫・改善を図る。

4，月例テストや定着確認シートが合格に満たない児童には，個別指導を行い再テストを実施し意欲を持たせる。（シール・賞状配布）

5，定着確認シートの結果を分析し、単元の指導に生かす。

6，確かな基礎学力の定着を図るために，学習過程の工夫・改善を図る。